

避難前に確認すること②

4 家財の被害を軽減しましょう 訓練

大切なものは高い所へ
大切なものや、移動できる家電製品などは、浸水しない高い場所に移動しておきましょう。



トイレなどの逆流防止
大雨で下水が逆流することがあります。水のうを便器などの中に入れて、水の逆流を抑えられます。



45ℓのゴミ袋に水を入れて便器に入れる


できることから始めましょう
日頃から落ち葉などの掃除をして、家の近くの排水溝の水はけを良くしておきましょう。




もしも、被害にあったら

被害状況がわかる写真をとりましょう

被害の様子わかる写真をいくつかの角度から撮りましょう。また、浸水した場合は、浸水した深さがわかるよう、メジャーなどで測定して撮影しましょう。り災証明書の申請や保険の申請などで必要となります。




近影



全景

り災証明書を申請しましょう

り災証明書とは
災害の被害にあわれた方の申請によって、市が家屋の被害状況の調査を行い、被害状況に応じて「全壊」「大規模半壊」「半壊」「一部損壊」などを認定し、り災証明書を発行します。詳しくは、市公式ホームページをご確認ください。



●浦安市公式ホームページ
[り災証明書の申請について]
<https://www.city.urayasu.lg.jp/todokede/anzen/bousai/1030674/1027478.html>

●マイナポータル(ぴったりサービス)
マイナンバーカードでり災証明書を申請することもできます。
https://myna.go.jp/SCK1501_02_001/SCK1501_02_001_Init.form

各種支援を受けるために必要となるので、お早めに申請をしてください。
※災害後は申請が多くなるため発行に時間がかかります。


待避所等に避難する場合の注意

訓練 台風シーズンの前に訓練をしましょう！

「訓練マーク」がついている項目は、台風シーズン前に家族や地域の皆さんで確認したり訓練を実施しましょう。

1 避難の種類①：立ち退き避難(水平避難) 訓練

避難にあたっては市指定の待避所へ向かうことにこだわらず、浸水しない地域の知人宅や、頑丈な建物の上階に避難するなど、自らの判断で最善の安全確保行動をとることが重要です。自宅には危険と判断したら、待避所など安全な建物に早めに避難しましょう(水平避難)。



！ 水害の場合、増水した川・海岸付近の待避所は開設されない場合があります。その時の状況に応じて、市が指定する待避所をご活用ください。

2 やむなく冠水した道を歩かなければならないときの注意 訓練



長靴や素足は危険です。運動靴をはきましょう。



長い棒をつえ代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。



ライフジャケットがあると安心です。

3 待避所等でのマナー 訓練

水害時に開設される待避所等は、さまざまな人が一定の期間過ごすことになります。他の人が不快に感じるような言動は控えましょう。みんなで協力しながら待避所で過ごすことが大切です。





4 ペット(犬・猫などの小動物)との避難 訓練

市では、ペットと一緒に避難する「同行避難」を認める「ペット専用待避所」をあらかじめ定めています。避難者とは異なるペット専用スペースにおいて、自己責任での飼育となります。同行避難したペットの飼養は、飼い主が給餌、ケージへの収容などを適正に行ってください。日頃のしつけやペット用の備蓄品も用意しておきましょう。

